

実務経験のある教員等による授業科目

シラバス

ダンス学科

ストリートダンス専攻

授業科目		授業時数
業界概論		60

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)

黒田 桃加
ダンスイベントの運営を経験し、教員免許を保持する講師が、エンタテインメント業界、社会におけるダンスを多角的にとらえてダンサーに必要な知識指導する。

前期

到達目標

ダンサーの職種や舞台に関する基礎知識の習得

評価方法

筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種についてインストラクターの契約形態、報酬、求められる能力など	
3	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種についてインストラクターの契約形態、報酬、求められる能力など	
4	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種についてテーマパークダンサーの契約形態、報酬、求められる能力など	
5	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種についてテーマパークダンサーの契約形態、報酬、求められる能力など	
6	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種についてバックダンサーの契約形態、報酬、求められる能力など	
7	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種についてバックダンサーの契約形態、報酬、求められる能力など	
8	ダンス業界と仕事	ダンサーの職種について振付師の契約形態、報酬、求められる能力など	
9	舞台用語	ダンスで使われる舞台用語についての解説	
10	舞台用語	ダンスで使われる舞台用語についての解説	
11	ダンスイベント	国内外の有名なダンスイベントについて	
12	ダンスイベント	国内外の有名なダンスイベントについて	
13	前期試験	筆記試験	
14	発表会準備	前期発表会についての確認 リハーサル、出演順、当日の準備作業について確認	
15	発表会準備	前期発表会についての確認 リハーサル、出演順、当日の準備作業について確認	

授業の方法

講義 演習・実験・実技・実習

授業概要

ダンスに関わる業界の成り立ちからエンタテインメント業界全体におけるダンス・ダンサーの立ち位置や役割、将来に関することを学んでいきます。
＜実務経験のある教員等の授業科目＞

使用教材:

後期

到達目標

ダンスの歴史とダンサーの研究

評価方法

筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	後期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	イベント制作準備①	学園祭に開催するイベントの企画を例に、イベント制作に必要な知識をレクチャーします。	
3	イベント制作準備②	学園祭に専攻で担当する企画について、実際にポスター制作等を行い、イベント制作について学びます。	
4	イベント制作準備③	前回に引き続き、学園祭に専攻で担当する企画について実際にポスター制作等を行い、イベント制作について学びます。	
5	ダンスの歴史	ジャンルごとの歴史について解説 ダンスの成り立ち、時代による表現方法の移り変わり 著名なダンサーなど	
6	ダンスの歴史	ジャンルごとの歴史について解説 ダンスの成り立ち、時代による表現方法の移り変わり 著名なダンサーなど	
7	ダンスの歴史	ジャンルごとの歴史について解説 ダンスの成り立ち、時代による表現方法の移り変わり 著名なダンサーなど	
8	ダンスの歴史	ジャンルごとの歴史について解説 ダンスの成り立ち、時代による表現方法の移り変わり 著名なダンサーなど	
9	ダンスの歴史	ジャンルごとの歴史について解説 ダンスの成り立ち、時代による表現方法の移り変わり 著名なダンサーなど	
10	ダンサー研究	世界的に活躍するダンサーとダンススタイルについて 所属チーム、活動履歴など	
11	ダンサー研究	世界的に活躍するダンサーとダンススタイルについて 所属チーム、活動履歴など	
12	ダンサー研究	世界的に活躍するダンサーとダンススタイルについて 所属チーム、活動履歴など	
13	後期試験	筆記試験	
14	発表会準備	後期発表会についての確認 リハーサル、出演順、当日の準備作業について確認	
15	発表会準備	後期発表会についての確認 リハーサル、出演順、当日の準備作業について確認	

授業科目		授業時数
コンディショニング		60

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 北條 直
 ヨガスタジオを自身で運営し、はり師きゆう師の資格を保持する講師が、
 身体の仕組みや、ダンサーに必要な身体作り・ケアの仕方について指導

前期 到達目標
ヨガのアーサナ実践を通して身体の構造と動きを知る

評価方法
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	イントロダクション 前期の授業内容、進行方法などについての説明
2	機能解剖学 基本的な身体の仕組み①
3	機能解剖学 基本的な身体の仕組み②
4	ヨガ実践 アーサナ読解 前屈を含む動きとポーズ
5	ヨガ実践 アーサナ実践 前屈を含む動きとポーズ
6	ヨガ実践 アーサナ読解 側屈を含む動きとポーズ
7	ヨガ実践 アーサナ実践 側屈を含む動きとポーズ
8	ヨガ実践 アーサナ読解 回旋を含む動きとポーズ
9	ヨガ実践 アーサナ読解 回旋を含む動きとポーズ
10	ヨガ実践 アーサナ読解 後屈を含む動きとポーズ
11	ヨガ実践 アーサナ読解 後屈を含む動きとポーズ
12	ヨガ実践 アーサナ読解 バランスを含む動きとポーズ
13	前期試験 実技試験
14	ヨガ実践 アーサナ読解 バランスを含む動きとポーズ
15	前期サマリー 前期試験課題についての総評 前期授業内容の振り返り

授業の方法
講義・ 演習 ・実験・実技・実習

授業概要
ヨガを通じて機能解剖学を学び、ダンスを踊る上で身体をより上手に動かしていくための方法論を習得する。また指導者として必要な身体に関する知識の習得も行う。 <実務経験のある教員等の授業科目>

後期 到達目標
ヨガの指導実践を通して指導者に必要な身体の知識を習得する

評価方法
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ヨガ実践 アーサナ読解 逆転を含む動きとポーズ
2	ヨガ実践 アーサナ実践 逆転を含む動きとポーズ
3	生理学 呼吸について
4	生理学 自律神経について
5	指導方法論 ウォーミングアップについて
6	指導方法論 クールダウンについて
7	機能解剖学 ヨガのポーズの読解
8	機能解剖学 アジャストメントの基礎
9	指導実践 レッスンの構成についてのレクチャー①
10	指導実践 レッスンの構成についてのレクチャー②
11	指導実践 レッスンサンプルづくり①
12	指導実践 レッスンサンプルづくり②
13	後期試験 実技試験
14	後期サマリー 総まとめと復習①
15	後期サマリー 総まとめと復習②

授業科目		授業時数
音源制作		60
学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻
担当講師(プロフィール)		
白藤浩史 振付、およびダンス音源制作の実務経験を持つ講師が、ダンスパフォーマンスに必要な音源制作の知識と技術を指導する。		
前期 到達目標		
SOUND FORGEの基本操作の理解		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	イントロダクション 前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	PCの基本操作① Windows PCの基礎操作について	
3	PCの基本操作② CDから楽曲のリッピングの方法	
4	SOUND FORGEの基本操作 音楽データの再生、ユーザーインターフェイスについて説明	
5	SOUND FORGEの基本操作 マーカーの設置、ループトラック作成①	
6	SOUND FORGEの基本操作 マーカーの設置、ループトラック作成②	
7	SOUND FORGEの基本操作 コピー、ペーストを使った音源編集①	
8	SOUND FORGEの基本操作 フェードイン、フェードアウトを使った音源編集①	
9	SOUND FORGEの基本操作 フェードイン、フェードアウトを使った音源編集②	
10	SOUND FORGEの基本操作 2曲以上の楽曲を使った音源編集①	
11	SOUND FORGEの基本操作 2曲以上の楽曲を使った音源編集②	
12	SOUND FORGEの基本操作 2曲以上の楽曲を使った音源編集③	
13	前期課題	前期試験課題 前期授業で修得した編集技術を使った自由課題制作①
14	前期課題	前期試験課題 前期授業で修得した編集技術を使った自由課題制作②
15	前期サマリー	前期試験課題についての総評 前期授業内容の振り返り

授業の方法		
講義・演習・実験・実技・実習		
授業概要		
波形編集ソフトを使用し、ダンスパフォーマンスに必要な音源の制作や編集方法を学習します。また、ダンスミュージックに関する知識の指導も行います。 ＜実務経験のある教員等の授業科目＞		
使用教材:		
後期 到達目標		
SOUND FORGEでのミックス方法の理解		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 リバーブ①	
2	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 リバーブ②	
3	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 リバーブを活用した音源編集①	
4	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 リバーブを活用した音源編集②	
5	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ノイズゲート①	
6	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ノイズゲート②	
7	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ノイズゲートを活用した音源編集①	
8	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ノイズゲートを活用した音源編集②	
9	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ピッチベンド①	
10	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ピッチベンド②	
11	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ピッチベンドを活用した音源編集①	
12	SOUND FORGEの基本操作 エフェクターの使用法 ピッチベンドを活用した音源編集②	
13	後期課題	後期試験課題 後期授業で修得した編集技術を使った自由課題制作①
14	後期課題	後期試験課題 後期授業で修得した編集技術を使った自由課題制作②
15	後期サマリー	後期試験課題についての総評 後期授業内容の振り返り

授業科目		授業時数
ステージ制作		60

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
井上昌美 他
振付、演出などの現場で活躍する講師が、舞台経験を活かして振付の制作や舞台のプロデュースについて指導する。

前期 到達目標
舞台についての知識の習得 振付・構成の理解

評価方法
筆記試験・実技試験(実習評価)・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	制作準備 レベルチェック・パート振り分け等①
2	制作準備 レベルチェック・パート振り分け等②
3	制作準備 レベルチェック・パート振り分け等③
4	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
5	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
6	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
7	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
8	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
9	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
10	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
11	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
12	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付 振付仮完成
13	発表会作品制作 振付修正作業 ドレスリハーサル 照明プランの確認
14	発表会作品制作 振付修正作業 立ち位置、舞台裏導線の確認
15	発表会作品制作 振付修正作業 本番当日のリハーサル内容確認

授業の方法
講義・演習・実験・実技・実習

授業概要
前期、後期の発表会に向けてダンス作品の振り付け、制作や照明を使った舞台演出など、ステージ制作に関わる知識や技術を学習します。
<実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期 到達目標
クラス単位の振付の作成 演出方法の理解

評価方法
筆記試験・実技試験(実習評価)・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	制作準備 レベルチェック・パート振り分け等①
2	制作準備 レベルチェック・パート振り分け等②
3	制作準備 レベルチェック・パート振り分け等③
4	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
5	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
6	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
7	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
8	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
9	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
10	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
11	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付
12	発表会作品制作 後期発表会上演作品の振付 振付仮完成
13	発表会作品制作 振付修正作業 ドレスリハーサル 照明プランの確認
14	発表会作品制作 振付修正作業 立ち位置、舞台裏導線の確認
15	発表会作品制作 振付修正作業 本番当日のリハーサル内容確認

授業科目		授業時数
ストリートダンス実技A		120

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 西本 竜也 他
 全国規模の大会でも実績を挙げている講師がその経験を活かして、技術やセルフトレーニングの方法を指導。

前期
到達目標
リズム感の強化とステップの理解

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー①	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(基礎) ロック、ポイント等上半身の動き	
3	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー②	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(振付) トゥエル、ドラム等上半身の動き	
4	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー③	NEW JACK SWINGのステップ(基礎) トゥエル、ドラム等上半身の動き	
5	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー④	NEW JACK SWINGのステップ(基礎) スクービードゥー、スキーターラビット等基本テクニク	
6	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑤	NEW JACK SWINGのステップ(振付) スクービードゥー、スキーターラビット等基本テクニク	
7	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑥	NEW JACK SWINGのステップ(振付) クロスハンド、スクーバットホップ等基本テクニク	
8	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑦	90年代HIP HOPのステップ(基礎) クロスハンド、スクーバットホップ等基本テクニク	
9	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑧	90年代HIP HOPのステップ(基礎) ストップ&ゴー、ロッカーズステップ等基本テクニク	
10	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑨	90年代HIP HOPのステップ(振付) ストップ&ゴー、ロッカーズステップ等基本テクニク	
11	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑩	90年代HIP HOPのステップ(振付) ロックステディ、ブレイクダウン等基本テクニク	
12	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑪	2000年代以降のHIP HOPのステップ(基礎) 発表会上演作品仕上げ	
13	前期実技試験		
14	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑫	2000年代以降のHIP HOPのステップ(振付) 発表会上演作品仕上げ	
15	前期サマリー	前期授業全体の振り返り 発表会上演作品仕上げ	

授業の方法
講義・演習・実験・実技・実習

授業概要
 ストリートダンスの中でもポピュラーなヒップホップ、ロックキングの基本技術や振付について学習し、リズム感を養います。
 <実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期
到達目標
1年間で習得したステップを使った振付の制作

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	後期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー①	NEW JACK SWINGのステップ(応用) 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付①	
3	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー②	NEW JACK SWINGのステップ(応用) 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付①	
4	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー③	NEW JACK SWINGのステップ(振付) 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付①	
5	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー④	90年代HIP HOPのステップ(応用) 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付②	
6	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑤	90年代HIP HOPのステップ(振付) 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付②	
7	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑥	2000年代以降のHIP HOPのステップ(応用) 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付②	
8	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑦	2000年代以降のHIP HOPのステップ(振付) 実力テスト用の振り付け	
9	実力テスト		
10	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑧	発表会作品で使用されるテクニックの補強 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付③	
11	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑨	発表会作品で使用されるテクニックの補強 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付③	
12	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑩	発表会作品で使用されるテクニックの補強 前期で修得したテクニックを組み合わせた振付③	
13	後期実技試験		
14	基本エクササイズ+ルー ティーンクrekチャー⑪	前期で修得したテクニックを組み合わせた振付③	
15	後期サマリー	後期授業全体の振り返り 発表会上演作品仕上げ	

授業科目		授業時数
ジャズダンス実技		120

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
西岡 瑞穂 他
舞台経験が豊富な講師が、ダンスにおけるステージングにつながる技術と表現方法を基礎からわかりやすく伝える。

前期
到達目標
基礎動作、手足のポジションを覚える ターンの基礎を習得する

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー①	プリエ、タンジュ等基本エクササイズのレクチャー	
3	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー②	プリエ、タンジュ等基本エクササイズのレクチャー	
4	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー③	足・手の基本ポジション	
5	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー④	足・手の基本ポジション	
6	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑤	ターンとクロスフロア(ビルエット等) 基本的なテクニクを含む振付①	
7	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑥	ターンとクロスフロア(ビルエット等) 基本的なテクニクを含む振付①	
8	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑦	ターンとクロスフロア(シェネ等) 基本的なテクニクを含む振付①	
9	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑧	ターンとクロスフロア(シェネ等) ターンを使った振付①	
10	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑨	ターンとクロスフロア(ピケ等) ターンを使った振付①	
11	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑩	ターンとクロスフロア(ピケ等) ターンを使った振付①	
12	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑪	ターンのコンビネーション(試験課題) 試験課題の振付	
13	前期実技試験		
14	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑫	ターンのコンビネーション 少人数グループ単位の振付と構成	
15	前期サマリー	前期授業全体の振り返り	

授業の方法
講義・演習・実験・ 実技 ・実習
授業概要
ターンなどジャズダンスの基本となる動作や、基本技術を応用した振り付けを学習し、美しく伸びやかな踊り方を養います。 <実務経験のある教員等の授業科目>
使用教材:

後期
到達目標
ジャズダンスの基礎、及びターン応用の習得 柔軟性をアップさせる

評価方法
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	後期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー①	ターンとそのバリエーション(ビルエット等) ターンを使った振付②	
3	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー②	ターンとそのバリエーション(ビルエット等) ターンを使った振付②	
4	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー③	ターンとそのバリエーション(シェネ等) ターンを使った振付②	
5	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー④	ターンとそのバリエーション(シェネ等) 基本的なテクニクを含む振付②	
6	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑤	ターンとそのバリエーション(ピケ等) 基本的なテクニクを含む振付②	
7	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑥	ターンとそのバリエーション(ピケ等) 基本的なテクニクを含む振付②	
8	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑦	ターンのコンビネーション 試験課題の振付	
9	実力テスト		
10	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑧	ターンを含む振付	
11	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑨	ターンを含む振付	
12	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑩	ターンを含む振付(試験課題) 試験課題の振付	
13	後期実技試験		
14	基本エクササイズ+テクニク クレクチャー⑪	ターンを含む振付	
15	後期サマリー	後期授業全体の振り返り	

授業科目		授業時数
ヨガ		60

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 青木 朋代
 全米ヨガアライアンス指導資格を保持する講師が、ヨガインストラクター育成に向けた指導を行う。

前期 到達目標
ヨガの基本的な実践

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	イントロダクション 前期の授業内容、進行方法などについての説明
2	ヨガの予備知識 ヨガに関する基本的な知識、概念についてのレクチャー
3	ヨガ実践 アーサナプラクティス① ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
4	ヨガ実践 アーサナプラクティス② ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
5	ヨガ実践 アーサナプラクティス③ ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
6	ヨガ実践 アーサナプラクティス④ ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
7	ヨガの種類 ヨガの成り立ちから現代におけるヨガのスタイルなど
8	呼吸法 ヨガの呼吸法についてのレクチャー①
9	呼吸法 ヨガの呼吸法についてのレクチャー②
10	太陽礼拝 太陽礼拝に関する実践
11	ヨガ実践 シャバアーサナについてのレクチャー①
12	太陽礼拝 太陽礼拝に関する解説
13	前期試験 実技試験
14	ヨガ実践 シャバアーサナについてのレクチャー②
15	前期サマリー 前期試験課題についての総評 前期授業内容の振り返り

授業の方法
講義・ 演習 ・実験・実技・実習

授業概要
 心身に働きかけるヨガは現代社会において急激に広がっているそのヨガの基礎知識と効果的な実践法を学び、ヨガ指導者になるための基礎段階を習得する。
 <実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期 到達目標
ヨガの基本的な考えを理解

評価方法
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ヨガ実践 アーサナプラクティス⑥ ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
2	ヨガ実践 アーサナプラクティス⑦ ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
3	ヨガ哲学 ヨガの思想や哲学についてレクチャー①
4	ヨガ哲学 ヨガの思想や哲学についてレクチャー②
5	ヨガ哲学 ヨガの思想や哲学についてレクチャー③
6	ヨガ指導法 ガイドと表現について①
7	ヨガ指導法 ガイドと表現について②
8	ヨガ指導法 誘導の方法論について①
9	ヨガ指導法 誘導の方法論について②
10	ヨガ指導法 誘導の実践
11	ヨガ実践 アーサナプラクティス⑧ ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
12	ヨガ実践 アーサナプラクティス⑨ ヨガの様々なアーサナ(ポーズ)についてのレクチャー
13	後期試験 実技試験
14	後期サマリー 総まとめと復習①
15	後期サマリー 総まとめと復習②

授業科目		授業時数
イベント制作		32
学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻
担当講師(プロフィール)		
白藤浩史 ダンス業界に長年携わる講師が、エンタテインメント業界、社会におけるダンスを多角的にとらえてダンサーに必要な知識指導する。		
前期		
到達目標		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
学内のイベントにおいて、企画・制作を学習し、エンタテインメント業界で活動するためのシミュレーションを行います。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	
後期	
到達目標	
学校全体の行事として実施、各学科の特徴を生かしたかたちで成果発表を盛り込む。学年及び各学科・専攻により制作レベルには違いはあるが、学校全体としての大きな目標を理解して進める。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	全体構想 過去のイベントを参考に、「イベント」といわれる催事についての解説を行い、各学科が習得している内容を生かすヒントを与えていく。そして、大きな仕組みの理解をしてもらう。
2	イベント準備 今回のイベント趣旨やその目的等をわかりやすく解説。公募されるものの仕組みや学生全体で担当する具体的なものを紹介していく。
3	参加内容 自分たちの参加内容をアイデア出し、企画・プランニングしていく。学科・専攻で参加するものやグループ・個人で出演やコンテンツ参加等、いろんな関わり方を知ってもらう。
4	制作① 具体的な計画術を学んでいく。具体的に作る作業内容、そこから導くチェックリスト、制作スケジュールや予算等を明確にしていく。
5	制作② 担当別にグループや個人に依頼して割り振る考え方を持っていく。そのための期限等は、その次のスケジュールに影響を及ぼすことも学んで行く。
6	制作③ 広報的な内容にも理解を示していく。実際には、どれだけの集客を望めたのかが結果として出てくるものになるので、その集計やアンケート回収などの知識を学ぶ。
7	実施運営① 具体的な用意(仕込み/準備等)を行う。担当箇所の運営にあたる人のスケジュールを作成。その担当者のチェック項目を明確にするもの等を揃えて実施運営としていく。また簡単なルール・マニュアル作りも大切な要素となる。
8	実施運営② 実施運営を行い、最終的なものとしての撤収作業。準備時間よりも早く終わるものだが、廃棄・保存・記録等の作業が次年度に関係してくるものとなる。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
業界研究		68

学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 白藤浩史
 ダンス業界に長年携わる講師が、エンタテインメント業界、社会におけるダンスを多角的にとらえてダンサーに必要な知識指導する。

前期 到達目標
 目指す業界の基本的な仕事内容を理解していく。他の実習授業との兼ね合いも関連していくことを十分に理解して学内外のイベントや実習に触れていく。

評価方法
 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・**その他**

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ADHIPイベント芸術鑑賞(24) 本校ダンス学科監修ADHIPが実施する5月イベント、7月大阪大会、8月全国大会(横浜)を見学。
2	ダンス発表会(8) 外部ホールを使用して半年に1度、発表会を行う。テーマに沿って様々な演出があり見応えのある内容となっている(外部からの来場可)。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業の方法
 講義・演習・実験・実技・**実習**

授業概要
 様々な企業と連携して学外でのイベント出演、見学を行います。エンタテインメント業界の動向を研究し、現場経験を在学中から積み重ねていきます。
 <実務経験のある教員等による授業科目>

使用教材:

後期 到達目標
 学内の基本的な実習内容を理解した上で、他の学科との関係性を考える。自分自身が携わる部分を意識出来るようにしてもらい、その業界での仕事スタイルや慣習を学ぶ。

評価方法
 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・**その他**

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ダンス発表会(8) 外部ホールを使用して半年に1度、発表会を行う。様々な演出があり見応えのある内容となっている(外部からの来場可)。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
ストリートダンス実技B		240
学年	学科	専攻
1	ダンス学科	ストリートダンス専攻
担当講師(プロフィール)		
石田雄介、小塩智則、楠本康夫 全国規模の大会でも実績を挙げている講師がその経験を活かして、技術やセルフトレーニングの方法を指導。		
前期 到達目標		
様々なジャンルのダンスの基礎技術の習得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	イントロダクション 前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー① トップロック等エントリームーブ基礎 ヒットの打ち方、フレスノ等基本テクニク パドブレ、シャッフル等基本ステップ	
3	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー② トップロック等エントリームーブ基礎 ヒットの打ち方、フレスノ等基本テクニク パドブレ、シャッフル等基本ステップ	
4	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー③ フットワーク等フロアムーブ基礎 ハンドウエーブ、ボディウエーブ等基本テクニク チェイス、サイドウオーク等基本ステップ	
5	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー④ フットワーク等フロアムーブ基礎 ハンドウエーブ、ボディウエーブ等基本テクニク チェイス、サイドウオーク等基本ステップ	
6	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑤ フットワーク等フロアムーブ基礎 ウオークアウト、サックウオーク等基本テクニク ファーマー、クロスステップ等基本ステップ	
7	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑥ フットワーク等フロアムーブ基礎 ウオークアウト、サックウオーク等基本テクニク ファーマー、クロスステップ等基本ステップ	
8	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑦ チェアー等フリーズ基礎 フレックスを使った基本テクニク スウィル、ルーズレッグ等基本ステップ	
9	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑧ チェアー等フリーズ基礎 フレックスを使った基本テクニク スウィル、ルーズレッグ等基本ステップ	
10	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑨ フロアムーブコンビネーション フレックスを使った基本テクニク トレイン、スケータリング等基本ステップ	
11	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑩ 基本テクニクを使ったコンビネーション(振付)	
12	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑪ トップロック→フロアムーブへの流れ 基本テクニクのコンビネーション	
13	前期実技試験 各ジャンルの試験を実施	
14	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑫ トップロック→フロアムーブへの流れ 基本テクニクのコンビネーション	
15	前期サマリー 前期授業全体の振り返り	

授業の方法	
講義・演習・実験 実技 実習	
授業概要	
ストリートダンスに分類される様々なジャンルのダンスを学習し、振付への対応力を磨くとともにダンサーとしての身体づくりを行います。 <実務経験のある教員等の授業科目>	
使用教材:	
後期 到達目標	
様々なジャンルの基礎技術を使った振付の理解	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	イントロダクション 後期の授業内容、進行方法などについての説明
2	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー① トップロックバリエーション 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
3	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー② トップロックバリエーション 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
4	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー③ フロアムーブバリエーション 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
5	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー④ フロアムーブバリエーション 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
6	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑤ フロアムーブバリエーション 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
7	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑥ ソロコンビネーション制作 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
8	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑦ ソロコンビネーション制作 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
9	実力テスト 各ジャンルの実力テスト(実技試験)を実施
10	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑧ フロアムーブコンビネーションとその発展 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
11	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑨ フロアムーブコンビネーションとその発展 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
12	基本エクササイズ+テクニク クrekチャー⑩ フロアムーブコンビネーションとその発展 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
13	後期実技試験 各ジャンルの試験を実施
14	後期サマリー 後期授業全体の振り返り サイファー、バトル等 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付
15	後期サマリー 後期授業全体の振り返り サイファー、バトル等 前期で修得したテクニクを組み合わせた振付

授業科目		授業時数
業界概論		60

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)

黒田 桃加
ダンスイベントの運営を経験し、教員免許を保持する講師が、エンタテインメント業界、社会におけるダンスを多角的にとらえてダンサーに必要な知識指導する。

前期

到達目標

社会人となるための準備

評価方法

筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明
2	自己分析	1年次の成績表などを元に自己分析 自分の特性の理解と卒業後の希望調査
3	自己分析	1年次の成績表などを元に自己分析 自分の特性の理解と卒業後の希望調査
4	イベントレポート	学外実習で参加したイベントに対するレポート制作 OLD SCHOOL NIGHT
5	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 働き方のスタイル、正社員とフリーランスの違い
6	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 働き方のスタイル、正社員とフリーランスの違い
7	発表会制作	発表会制作の中間報告 自主制作作品の進捗等の共有 制作スケジュールのチェック
8	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 働く者の権利と労働基準法
9	進路研究	進路希望調査 近畿圏のダンススタジオの所在と分布
10	進路研究	夏～秋ごろのオーディションスケジュール イベント出演、テーマパーク等
11	イベントレポート	学外実習で参加したイベントに対するレポート制作 JDD大阪大会
12	発表会制作	発表会制作の中間報告 自主制作作品の進捗等の共有 制作スケジュールのチェック
13	イベント準備	出演イベントの準備 当日スケジュールの確認
14	イベントレポート	学外実習で参加したイベントに対するレポート制作 JAPAN DANCE DELIGHT FINAL
15	発表会準備	前期発表会の最終確認 当日スケジュール確認

授業の方法

講義 演習・実験・実技・実習

授業概要

ダンスに関わる業界の成り立ちからエンタテインメント業界全体におけるダンス・ダンサーの立ち位置や役割、将来に関することを学んでいきます。
<実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期

到達目標

社会人としての基礎知識の習得

評価方法

筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		実施内容
1	イントロダクション	後期の授業内容、進行方法などについての説明
2	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 社会人にかかる生活コスト(税金、年金等)
3	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 生活コストを踏まえたキャリアプランニング
4	発表会制作	発表会制作の中間報告 自主制作作品の進捗等の共有 制作スケジュールのチェック
5	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 保険について
6	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 保険について
7	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 年金について
8	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 年金について
9	発表会制作	発表会制作の中間報告 自主制作作品の進捗等の共有 制作スケジュールのチェック
10	進路研究	進路希望調査
11	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 税金について
12	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 税金について
13	ダンサーと社会	社会人としての基礎知識 社会人としてのダンサーとは
14	発表会準備	前期発表会の最終確認 当日スケジュール確認
15	発表会準備	前期発表会の最終確認 当日スケジュール確認

授業科目		授業時数
コンディショニング		60

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 北條 直
 ヨガスタジオを自身で運営し、はり師きゆう師の資格を保持する講師が、
 身体の仕組みや、ダンサーに必要な身体作り・ケアの仕方について指導

前期 到達目標
アーサナから見た機能解剖学の理解

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	機能解剖学 ミスアライメントから学ぶ機能解剖学①
2	機能解剖学 ミスアライメントから学ぶ機能解剖学②
3	機能解剖学 ミスアライメントから学ぶ機能解剖学③
4	機能解剖学 ミスアライメントから学ぶ機能解剖学④
5	機能解剖学 ミスアライメントから学ぶ機能解剖学⑤
6	機能解剖学 ミスアライメントから学ぶ機能解剖学⑥
7	機能解剖学 アジャストメントの指導方法①
8	機能解剖学 アジャストメントの指導実践①
9	機能解剖学 アジャストメントの指導方法②
10	機能解剖学 アジャストメントの指導実践②
11	機能解剖学 アジャストメントの指導方法③
12	機能解剖学 アジャストメントの指導実践③
13	前期試験 実技試験
14	機能解剖学 アジャストメントの指導方法④
15	前期サマリー 前期試験課題についての総評 前期授業内容の振り返り

授業の方法
講義・ 演習 ・実験・実技・実習

授業概要
 ヨガを通じてダンスを踊っていく上で必要となってくる身体に関する知識
 (筋肉や骨格など身体の構造、健康な身体とケガをしたときの身体の違
 い等)を学習する。
 <実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期 到達目標
指導実践を通じて自分と他人の身体ケアの方法論を習得

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	機能解剖学 アジャストメントの指導方法⑤
2	機能解剖学 アジャストメントの指導実践⑤
3	機能解剖学 アジャストメントの指導方法⑥
4	機能解剖学 アジャストメントの指導実践⑥
5	機能解剖学 アジャストメントの指導方法⑦
6	機能解剖学 アジャストメントの指導実践⑦
7	機能解剖学 アジャストメントの指導方法⑧
8	機能解剖学 アジャストメントの指導実践⑧
9	ヨガと生理学 プラーナマヤー、呼吸法について
10	ヨガと生理学 プラーナマヤー実践
11	指導実践 レッスンの内容チェックとロールプレイ
12	指導実践 レッスンの内容チェックとロールプレイ
13	後期試験 実技試験
14	後期サマリー 総まとめと復習①
15	後期サマリー 総まとめと復習②

授業科目		授業時数
音源制作		60

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
白藤浩史 振付、およびダンス音源制作の実務経験を持つ講師が、ダンスパフォーマンスに必要な音源制作の知識と技術を指導する。

前期 到達目標
テンポ調整機能を利用したミックス方法の習得

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	波形編集ミックス応用	タイムストレッチの機能と使用方法について	
3	波形編集ミックス応用	タイムストレッチの機能と使用方法について	
4	波形編集ミックス応用	タイムストレッチを活用したミックス	
5	波形編集ミックス応用	タイムストレッチを活用したミックス	
6	波形編集ミックス応用	タイムストレッチとその他のエフェクターを併用したミックス	
7	波形編集ミックス応用	タイムストレッチとその他のエフェクターを併用したミックス	
8	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
9	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
10	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
11	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
12	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
13	波形編集ミックス応用	ディレイの機能と操作方法について	
14	波形編集ミックス応用	ディレイの機能と操作方法について	
15	波形編集ミックス応用	タイムストレッチとディレイを併用したミックス	

授業の方法
講義・ 演習 ・実験・実技・実習
授業概要
波形編集ソフトを使用し、ダンスパフォーマンスに必要な音源の制作や編集方法を学習します。また、ダンスミュージックに関する知識の指導も行います。 <実務経験のある教員等の授業科目>
使用教材:

後期 到達目標
様々なエフェクターを利用したミックス方法の習得

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	波形編集ミックス応用	ミックスの際の音量調整、グラフィックフェイド	
2	波形編集ミックス応用	ミックスの際の音量調整、グラフィックフェイド	
3	波形編集ミックス応用	様々なエフェクターを活用したミックス	
4	波形編集ミックス応用	様々なエフェクターを活用したミックス	
5	波形編集ミックス応用	様々なエフェクターを活用したミックス	
6	波形編集ミックス応用	様々なエフェクターを活用したミックス	
7	波形編集ミックス応用	様々なエフェクターを活用したミックス	
8	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
9	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
10	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
11	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
12	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
13	発表会用音源制作	発表会自主制作作品用の音源をグループごとに制作	
14	後期サマリー	総まとめと復習①	
15	後期サマリー	総まとめと復習②	

授業科目		授業時数
ステージ制作		60

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 石田雄介
 振付、演出などの現場で活躍する講師が、舞台経験を活かして振付の制作や舞台のプロデュースについて指導する。

前期
到達目標
自主制作での作品振付、演出の理解

評価方法
筆記試験・実技試験(実習評価)・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	制作準備 発表会コンセプト、上演作品、出演メンバー振り分けのためのミーティング
2	制作準備 発表会コンセプト、上演作品、出演メンバー振り分けのためのミーティング
3	制作準備 発表会コンセプト、上演作品、出演メンバー振り分けのためのミーティング
4	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
5	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
6	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
7	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
8	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
9	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
10	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
11	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
12	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付 振付仮完成
13	発表会作品制作 振付修正作業 ドレスリハーサル 照明プランの確認
14	発表会作品制作 振付修正作業 立ち位置、舞台裏導線の確認
15	発表会作品制作 振付修正作業 本番当日のリハーサル内容確認

授業の方法
講義・演習・実験・実技・実習

授業概要
 前期、後期の発表会に向けてダンス作品の振り付け、制作や照明を使った舞台演出など、ステージ制作に関わる知識や技術を学習します。
 <実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期
到達目標
自主制作作品を含む舞台全体のプロデュース

評価方法
筆記試験・実技試験(実習評価)・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	制作準備 発表会コンセプト、上演作品、出演メンバー振り分けのためのミーティング
2	制作準備 発表会コンセプト、上演作品、出演メンバー振り分けのためのミーティング
3	制作準備 発表会コンセプト、上演作品、出演メンバー振り分けのためのミーティング
4	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
5	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
6	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
7	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
8	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
9	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
10	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
11	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付
12	発表会作品制作 前期発表会上演作品の振付 振付仮完成
13	発表会作品制作 振付修正作業 ドレスリハーサル 照明プランの確認
14	発表会作品制作 振付修正作業 立ち位置、舞台裏導線の確認
15	発表会作品制作 振付修正作業 本番当日のリハーサル内容確認

授業科目		授業時数
ストリートダンス実技A		120
学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻
担当講師(プロフィール)		
和座 雄一郎 他 全国規模の大会でも実績を挙げている講師がその経験を活かして、技術やセルフトレーニングの方法を指導。		
前期 到達目標		
基本技術の発展方法の理解と修得		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		

授業計画		実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明
2	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー①	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 リズムの変化の表現方法について
3	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー②	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 リズムの変化の表現方法について
4	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー③	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 リズムの変化の表現方法について
5	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー④	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 動きの質感のブラッシュアップ
6	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑤	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 動きの質感のブラッシュアップ
7	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑥	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 動きの質感のブラッシュアップ
8	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑦	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 アイソレーションの強化とボディコントロール
9	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑧	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 アイソレーションの強化とボディコントロール
10	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑨	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 アイソレーションの強化とボディコントロール
11	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑩	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 空間の活用方法
12	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑪	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 空間の活用方法
13	前期実技試験	
14	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑬	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 ソロパフォーマンス、サイファー
15	前期サマリー	前期授業全体の振り返り

授業の方法	
講義・演習・実験・ 実技 ・実習	
授業概要	
ストリートダンスの中でもポピュラーなヒップホップ、ロッキングの基本技術や振付について学習し、リズム感を養います。 <実務経験のある教員等の授業科目>	
使用教材:	
後期 到達目標	
応用技術を盛り込んだ振付の習得	
評価方法	
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他	

授業計画		実施内容
1	イントロダクション	後期の授業内容、進行方法などについての説明
2	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー①	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 テンポの速い高度な振付
3	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー②	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 テンポの速い高度な振付
4	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー③	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 テンポの速い高度な振付
5	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー④	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 コントロールが複雑な振付
6	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑤	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 コントロールが複雑な振付
7	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑥	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 コントロールが複雑な振付
8	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑦	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 実力テスト用の振り付け
9	実力テスト	
10	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑨	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 動きのサイズとニュアンスのコントロール
11	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑩	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 動きのサイズとニュアンスのコントロール
12	応用エクササイズ+テクニク クレクチャー⑪	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 動きのサイズとニュアンスのコントロール
13	後期実技試験	
14	応用エクササイズ+ル ティーンクチャー	アップ&ダウンのリズムを使ったステップ(応用) ヒップホップ、ロッキングの基本テクニックのアレンジと振付 ソロパフォーマンス、サイファー
15	後期サマリー	後期授業全体の振り返り

授業科目		授業時数
ジャズダンス実技		60

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 新谷 奈緒子
 舞台経験が豊富な講師が、ダンスにおけるステージングにつながる技術と表現方法を基礎からわかりやすく伝える。

前期 到達目標
基本技術の発展方法の理解と修得

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー①	フリエ、タンジュ等基本エクササイズのアレンジとバリエーション	
3	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー②	フリエ、タンジュ等基本エクササイズのアレンジとバリエーション	
4	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー③	足・手の基本ポジションのアレンジとバリエーション	
5	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー④	足・手の基本ポジションのアレンジとバリエーション	
6	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑤	ターンとクロスフロア(ビルエット等) 基本的なテクニクのアレンジを含む振付①	
7	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑥	ターンとクロスフロア(ビルエット等) 基本的なテクニクのアレンジを含む振付①	
8	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑦	ターンとクロスフロア(ビルエット等) 基本的なテクニクのアレンジを含む振付①	
9	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑧	ターンとクロスフロア(シェネ等) ターンのバリエーションを使った振付①	
10	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑨	ターンとクロスフロア(シェネ等) ターンのバリエーションを使った振付①	
11	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑩	ターンとクロスフロア(シェネ等) ターンのバリエーションを使った振付①	
12	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑪	基本テクニクとターンのコンビネーション(試験課題) 試験課題の振付	
13	前期実技試験		
14	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑬	ターンのコンビネーション 少人数グループ単位の振付と構成	
15	前期サマリー	前期授業全体の振り返り	

授業の方法
講義・演習・実験・実技・実習

授業概要
 ターンなどジャズダンスの基本となる動作や、基本技術を応用した振り付けを学習し、美しく伸びやかな踊り方を養います。
 <実務経験のある教員等の授業科目>

後期 到達目標
応用技術を盛り込んだ振付の習得

評価方法
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		授業項目	実施内容
1	イントロダクション	後期の授業内容、進行方法などについての説明	
2	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー①	ターンとそのバリエーション(ビルエット等) ターンのバリエーションを使った振付②	
3	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー②	ターンとそのバリエーション(ビルエット等) ターンのバリエーションを使った振付②	
4	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー③	ターンとそのバリエーション(ビルエット等) ターンのバリエーションを使った振付②	
5	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー④	ターンとそのバリエーション(シェネ等) 基本的なテクニクのアレンジを含む振付②	
6	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑤	ターンとそのバリエーション(シェネ等) 基本的なテクニクのアレンジを含む振付②	
7	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑥	ターンとそのバリエーション(シェネ等) 基本的なテクニクのアレンジを含む振付②	
8	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑦	基本テクニクとターンのコンビネーション(試験課題) 試験課題の振付	
9	実力テスト		
10	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑨	ターンのコンビネーションを含む振付	
11	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑩	ターンのコンビネーションを含む振付	
12	応用エクササイズ+テクニク クrekチャー⑪	ターンのコンビネーションを含む振付(試験課題) 試験課題の振付	
13	後期実技試験		
14	応用エクササイズ+ルー ティーンクrekチャー	ターンのコンビネーションを含む振付	
15	後期サマリー	後期授業全体の振り返り	

授業科目		授業時数
イベント制作		32
学年	学科	専攻
2	ダンス	ストリートダンス専攻
担当講師(プロフィール)		
白藤浩史 ダンス業界に長年携わる講師が、エンタテインメント業界、社会におけるダンスを多角的にとらえてダンサーに必要な知識指導する。		
前期		
到達目標		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・実習	
授業概要	
学内のイベントにおいて、企画・制作を学習し、エンタテインメント業界で活動するためのシミュレーションを行います。 <実務経験のある教員等による授業科目>	
使用教材:	
後期	
到達目標	
学校全体の行事として実施、各学科の特徴を生かしたかたちで成果発表を盛り込む。学年及び各学科・専攻により制作レベルには違いはあるが、学校全体としての大きな目標を理解して進める。2年次は、後輩となる1年の指導もイベント制作の重要項目となる。	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	全体構想 2年目の「イベント」として昨年の反省を踏まえ、各学科が習得している内容を生かせる工夫をしていく。また、全体の動きを理解して、色んな担当を任せしていく。
2	イベント準備 今回のイベント趣旨やその目的等をわかりやすく解説。公募されるものの内容、学生全体で担当する具体的なものに参加していく。
3	参加内容 自分たちの参加内容をアイデア出し、企画・プランニングしていく。学科・専攻で参加するものやグループ・個人で出演やコンテンツ参加等、いろんな関わり方を知ってもらう。
4	制作① 具体的な計画術を学んでいく。具体的に作る作業内容、そこから導くチェックリスト、制作スケジュールや予算等を明確にしていく。
5	制作② 担当別にグループや個人に依頼して割り振る考え方を持っていく。そのための期限等は、その次のスケジュールに影響を及ぼすことも学んで行く。
6	制作③ 広報的な内容にも理解を示していく。実際には、どれだけの集客を望めたのかが結果として出てくるものになるので、その集計やアンケート回収などの知識を学ぶ。
7	実施運営① 具体的な用意(仕込み/準備等)を行う。担当箇所の運営にあたる人のスケジュールを作成。その担当者のチェック項目を明確にするもの等を揃えて実施運営としていく。また簡単なルール・マニュアル作りも大切な要素となる。
8	実施運営② 実施運営を行い、最後の撤収作業まで責任を持って行う。その後、廃棄・保存・記録等の作業が次年度に関係してくるので、申し送り等の作業をしっかり行う。
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
業界研究		68

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)	
白藤浩史 ダンス業界に長年携わる講師が、エンタテインメント業界、社会におけるダンスを多角的にとらえてダンサーに必要な知識指導する。	

前期	
到達目標	
目指す業界の幅広い仕事内容を知ってもらう。習得した知識や実技内容との関連も考えながら、業界との接点を感じてもらおう。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ADHIPイベント芸術鑑賞(24) 本校ダンス学科監修ADHIPが実施する5月イベント、7月大阪大会、8月全国大会(横浜)を見学。
2	ダンス発表会(8) 外部ホールを使用して半年に1度、発表会を行う。テーマに沿って様々な演出があり見応えのある内容となっている(外部からの来場可)。
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業の方法	
講義・演習・実験・実技・ 実習	

授業概要	
様々な企業と連携して学外でのイベント出演、見学を行います。エンタテインメント業界の動向を研究し、現場経験を在学中から積み重ねていきます。 <実務経験のある教員等による授業科目>	

使用教材:	

後期	
到達目標	
学内外での実習内容を消化しながら、他の学科との仕事の位置関係を学んで行く。自分自身が携わる部分、また協力できる部分等を意識してもらい、創り上げていく流れを体感、理解するようにする。	

評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・ その他	

授業計画	
授業項目	実施内容
1	ダンス発表会(8) 外部ホールを使用して半年に1度、発表会を行う。様々な演出があり見応えのある内容となっている(外部からの来場可)。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

授業科目		授業時数
ダンスマスター		360

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 石田雄介 他
 全国規模の大会でも実績を挙げている講師がその経験を活かして、技術やセルフトレーニングの方法を指導。

前期
到達目標
様々なダンススタイルと自分の特性の理解

評価方法
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	イントロダクション 前期の授業内容、進行方法などについての説明
2	自己分析 自分の身体的特徴、踊りなどを分析する
3	自己分析 自分の身体的特徴、踊りなどを分析する
4	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究① 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
5	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究① 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
6	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究① 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
7	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ① アレンジとコンビネーション
8	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ① アレンジとコンビネーション
9	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ① アレンジとコンビネーション
10	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究② 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
11	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究② 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
12	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ② アレンジとコンビネーション
13	前期試験 実技試験
14	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ② アレンジとコンビネーション
15	前期サマリー 前期試験課題についての総評 前期授業内容の振り返り

授業の方法
講義・演習・実験 実技 実習

授業概要
 1年次に学習したダンスをさらに深く学習し、細かな表現方法やダンススタイルについての研究を行い、個性を発揮できる踊り方を学習します。
 <実務経験のある教員等の授業科目>
使用教材:

後期
到達目標
自分自身のダンススタイルを確立

評価方法
筆記試験・ 実技試験 ・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画	
授業項目	実施内容
1	自己分析 自分の身体的特徴、踊りなどを分析する 前期試験の結果を元に自分のスタイリングを準備
2	自己分析 自分の身体的特徴、踊りなどを分析する 前期試験の結果を元に自分のスタイリングを準備
3	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究③ 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
4	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究③ 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
5	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ③ アレンジとコンビネーション
6	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ③ アレンジとコンビネーション
7	ソロパフォーマンス 様々なジャンルのソロパフォーマンス スタイリングの中間発表
8	ソロパフォーマンス 様々なジャンルのソロパフォーマンス スタイリングの中間発表
9	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究④ 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
10	スタイル研究 様々なジャンルのダンススタイルを研究④ 基本技術のアレンジメント、振付の中での表現技法
11	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ④ アレンジとコンビネーション
12	テクニック応用 様々なジャンルにおける基本技術の発展と組み合わせ④ アレンジとコンビネーション
13	後期試験 実技試験
14	ソロパフォーマンス 様々なジャンルのソロパフォーマンス ダンススタイルのプレゼンテーション
15	ソロパフォーマンス 様々なジャンルのソロパフォーマンス ダンススタイルのプレゼンテーション

授業科目		授業時数
インストラクティング		360

学年	学科	専攻
2	ダンス学科	ストリートダンス専攻

担当講師(プロフィール)
 橋屋昌央 他
 ダンスインストラクターとして実務経験が豊富な講師が、指導のノウハウやレッスンプランの作成について指導する。

前期 到達目標
 インストラクターとしてのコミュニケーションスキルの向上

評価方法
 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		実施内容
授業項目		
1	イントロダクション	前期の授業内容、進行方法などについての説明
2	キャリアプランニング	卒業後のキャリア形成プラン作成
3	キャリアプランニング	卒業後のキャリア形成プラン作成
4	キャリアプランニング	卒業後のキャリア形成プラン作成
5	キャリアプランニング	就職先となるダンススタジオについて
6	キャリアプランニング	面接についての取り組み
7	指導実践	チームワークショップ説明
8	指導実践	チームワークショップ実践 グループごとにレッスンプランの作成
9	指導実践	チームワークショップ実践 グループごとにレッスンプランの作成
10	指導実践	チームワークショップ実践 グループごとに模擬レッスンの実施
11	指導実践	チームワークショップ実践 グループごとに模擬レッスンの実施
12	指導実践	チームワークショップ実践 グループごとに模擬レッスンの実施
13	指導実践	チームワークショップまとめ ディスカッション
14	指導実践	チームワークショップまとめ ディスカッション
15	前期サマリー	前期試験課題についての総評 前期授業内容の振り返り

授業の方法
 講義・演習・実験・実技・実習

授業概要
 ダンスやヨガのインストラクターとなるためにレッスンプランの作成や模擬授業などを行い、指導者として必要な知識と技術を学習します。
 <実務経験のある教員等の授業科目>

使用教材:

後期 到達目標
 レッスンプランの作成と模擬レッスンを通じて指導力の向上

評価方法
 筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他

授業計画		実施内容
授業項目		
1	指導実践	ダンスレッスン実践 レッスン準備～ストレッチ
2	指導実践	ダンスレッスン実践 レッスン準備～ストレッチ
3	指導実践	ダンスレッスン実践 レッスン準備～ストレッチ
4	指導実践	ダンスレッスン実践 レッスン準備～ストレッチ
5	指導実践	ダンスレッスン実践 レッスン準備～ストレッチ まとめ ディスカッション
6	指導実践	ダンスレッスン実践 リズムトレーニング～アイソレーション
7	指導実践	ダンスレッスン実践 リズムトレーニング～アイソレーション
8	指導実践	ダンスレッスン実践 リズムトレーニング～アイソレーション
9	指導実践	ダンスレッスン実践 リズムトレーニング～アイソレーション
10	指導実践	ダンスレッスン実践 振付
11	指導実践	ダンスレッスン実践 振付
12	指導実践	ダンスレッスン実践 振付
13	指導実践	ダンスレッスン実践 振付
14	指導実践	インストラクティング検定
15	後期サマリー	総まとめと復習